



## 冬のイベント情報 Information on Winter Events

・平成31年1月18日(金)～30日(水)  
虹流館くぐりの(久々野町久々野)  
【問合せ】 青少年育成市民会議(生涯学習課内) ☎35-33155

**飛驒の里 しめ縄・しめ飾りづくり実演**  
【期間】 12月7日(金)～9日(日)  
【時間】 午前10時～午後4時  
【場所】 飛驒の里(上岡本町1)  
※市民の方は市内在住が確認できるときのものを窓口で提示すると入館無料です。

【問合せ】 飛驒民俗村 ☎34-4711

### ぶり街道祭り

新鮮な魚介類や海鮮鍋の販売、さんまの振る舞いがあります。  
【期日】 12月9日(日)  
【時間】 午前9時～午後1時  
【場所】 道の駅ひだ朝日村(朝日町万石)

【問合せ】 道の駅ひだ朝日村 ☎55-3777

### 「塩ぶり市」講演会・見学会

年末の風物詩「塩ぶり市」に合わせ、市民の方を対象とした講演会と見学会を開催します。  
【期日】 12月24日(月)

**第35回家族スナップ写真展 第27回家庭の日・ポスター展**  
家族のふれあいや青少年の活動など、明るい家庭づくりをテーマにした写真・図画・ポスター展を開催します。  
【期間】 12月7日(金)～9日(日)  
【時間】 午前9時～午後5時  
(9日は午後4時まで)  
【場所】 市民文化会館(昭和町1)  
※9日(日)午後4時から入賞者の表彰式を行います。  
**巡回展のお知らせ**  
・12月12日(水)～25日(火)  
上宝支所(上宝町本郷)  
・12月27日(木)  
平成31年1月16日(水)  
きよみ館(清見町三日月)

【時間】 午前7時～8時30分  
【場所】 市公設地方卸売市場(高屋町)  
【演題】 年取りのぶり  
【講師】 田中 彰さん(市史編纂専門員)  
【定員】 30人(先着順)  
【申込】 12月3日(月)～15日(土)までにTEL・FAX  
(午前8時30分～午後5時)  
【主催】 (一)財 高山市施設振興公社  
【問合せ】 市場管理事務所 ☎34-1818 FAX 34-8979



## 飛驒山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第12章)

### 傾いて隆起した槍ヶ岳

「あ！槍だ！」飛驒山脈に登った登山者が真っ先に目印にする山が槍ヶ岳です。槍のように天を突く姿は、目につきます。標高は3,180メートル。岳人なら一度は頂上に立ちたいと思う山です。

その北側に連なる北鎌尾根は、新田次郎の小説「孤高の人」の舞台の1つです。小説は昭和初期の登山家、加藤文太郎がモデルとなっています。その頃の登山は猟師などをガイドとした高級なスポーツであり、単独行で地下足袋姿の文太郎は異色の登山家でした。文太郎は、飛驒山脈での冬期登頂を単独行で次々と成功させ、一躍有名となりました。

北鎌尾根・東鎌尾根・そして穂高連峰につながる4つの尾根の接点が槍ヶ岳です。尾根と尾根の間の谷は深く切れ込んでいます。槍ヶ岳は周囲を氷河等に削られ残った部分という一面はありますが、その形のできかたは単純ではないようです。

たとえば、この写真は、南側の大喰岳からみた槍ヶ岳です。山頂部が東側に傾いて、お辞儀しているように見えます。なぜ傾いているのでしょうか。

当推進協議会顧問である信州大学原山智名誉教授によると、傾きの原因は飛驒山脈を南北に走る断層を境に、信州側の大地が飛驒側の上に傾いて乗り上がったためです。

この大地を押す力は、日本列島に広範囲に加わっています。太平洋プレートは年平均8センチの速さで東から西へ移動し、日本海溝に沈み込みます。そして、同時に日本列島を押ししています。あの東日本大震災の地震活動もこの力に起因しています。



【問合せ】 飛驒山脈ジオパーク推進協議会 ☎0577-88400038